

演題 漢詩よもやま話

わが国では、古くから「詩の国」とも言える中国の詩集が数多く読まれてきました。それは単に鑑賞をするだけでなく、日本漢詩として創作をすることを目的とするものでもありました。明治の文豪鴉外・漱石・子規なども多くの漢詩を残しましたが、それらは和臭と言われる日本人の癖のない中国式のものでした。それ
今回は、そのあたりを中心に、NHK漢詩講座でおなじみの赤井益久先生に日本人の漢詩の捉え方についてお話しいただきます。

芳花翁詩鏡秘景論
詠懐古愧 丹玉波 名
風瑞ふ年 漱石 題

↑
夏目漱石作
五言絶句
「無題」

講師

國學院大學教授 同前学長

NHK「漢詩をよむ」

二〇一五年〜一八年講師

赤井益久氏



期日：令和元年十一月二日（土）

午後二時〜三時半

* 一時より受付（B1楼の間）開始

場所：パルシオンホテル

埼玉県新座市東北二一〇一三

アクセス 東武東上線志木駅下車南口より

新座中央通り 徒歩五分

定員：百二十名（先着順） 参加費：無料

後援：新座市・同教育委員会・全日本漢詩連盟・
公益社団法人日本詩吟学院

* お問い合わせ先 事務局

☎ 〇四八—四七九—六九七七